

令和4年度決算について

学校法人駒澤大学の令和4年度決算は、監事および公認会計士の監査を経て、令和5年5月25日の理事会・評議員会において承認されました。

①資金収支について

【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は278億3,883万円となりました。主な項目は学生生徒等納付金収入158億8,435万円、入学検定料などの手数料収入8億8,232万円、教育後援会・同窓会等の後援団体や(株)KUサポート、企業・個人等からの教育研究活動への寄付及び、図書館建設をはじめとする施設整備等活動への寄付等による寄付金収入3億8,379万円、国や地方公共団体からの補助金収入24億2,993万円、私学退職金財団等交付金などの雑収入5億5,929万円、授業料・入学金等の前受金収入52億7,560万円、各種引当特定資産取崩等のその他の収入67億72万円等です。これらに資金収入調整勘定、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計は、379億6,223万円となりました。

【支出の部】

翌年度繰越支払資金を除いた当年度支出は274億7,715万円となりました。主な項目は人件費支出101億7,193万円、教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出54億4,676万円、教育・研究を間接的に支援する管理経費支出8億5,399万円、日本私立学校振興・共済事業団等への借入金等返済支出4億259万円、駒澤大学図書館建設工事、苫小牧高校の大心寮建設工事等の施設関係支出26億3,282万円、駒澤大学図書館関係機器備品、図書館で利用するKOMAnet2022システムリプレイス、教育関係図書支出等の設備関係支出5億5,749万円、各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出71億円等です。これらに資金支出調整勘定、翌年度繰越支払資金等を加えた支出の部合計は、379億6,223万円となりました。

②活動区分資金収支について

【教育活動による資金収支】

教育活動による資金収支は、支払資金の流れの面から、本業の教育研究活動の収支状況を表しています。学生生徒等納付金収入、手数料収入のほか、施設整備以外の特別寄付金収入や経常費等補助金収入などの教育活動資金収入計202億7,478万円から、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などの教育活動資金支出計164億7,061万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等5億112万円を加えた教育活動資金収支差額は、43億529万円のプラスとなりました。

【施設整備等活動による資金収支】

施設整備等活動による資金収支は、施設設備の取得・売却等の活動に関する収支状況を表しています。施設設備寄付金や施設設備補助金、駒澤大学図書館建設事業などに充当する第2号基本金引当特定資産取崩収入などの施設整備等活動資金収入計46億8,497万円から、施設関係支出や設備関係支出、駒澤大学新教場棟(仮称)建設事業などに充当する第2号基本金引当特定資産繰入支出などの施設整備等活動資金支出計78億9,031万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等6,631万円を引いた施設整

備等活動資金収支差額は、32億7,165万円のマイナスとなりました。

【その他の活動による資金収支】

その他の活動による資金収支は、借入金の収支、資金運用の状況等の財務活動、預り金等の受払い等の経過的な活動に関する収支状況を表しています。借入金等収入、退職給与引当特定資産等の有価証券償還に伴う取崩収入、受取利息・配当金収入など、その他の活動資金収入計22億8,059万円から、借入金等返済支出、退職給与引当金等の再組入・積み増しによる繰入支出など、その他の活動資金支出29億5,233万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等22万円を引いたその他の活動資金収支差額は、6億7,195万円のマイナスとなりました。

教育活動による資金収支差額、施設整備等活動による資金収支差額、その他の活動による資金収支差額の収支差額を合計した結果、支払資金は前年度より3億6,167万円増加し、翌年度繰越支払資金は104億8,508万円となりました。

③事業活動収支について

【経常収支】

教育活動収支は、本業である教育研究活動を行うための収入・支出です。学生生徒等納付金や経常費等補助金などの教育活動収入計から、人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計を差し引いた教育活動収支差額は、20億2,435万円の収入超過となりました。なお、この支出のうち18億2,256万円は減価償却額によるものです。

教育活動外収支は、受取利息・配当金や借入金等利息のように財務的な活動に伴う収入・支出です。受取利息・配当金等による教育活動外収入計から、借入金等利息等による教育活動外支出計を差し引いた教育活動外収支差額は、3億7,976万円の収入超過となりました。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は、教育活動収支差額と教育活動外収支差額の計で、24億412万円の収入超過となりました。

【特別収支】

特別収支は、施設設備に関する寄付金・補助金や資産売却・資産処分等の臨時的な収入・支出です。有価証券の償還等による資産売却差額や施設設備に関する寄付金・補助金などの特別収入計から、資産処分差額などの特別支出計を差し引いた特別収支差額は、4億2,831万円の収入超過となりました。

【収支差額】

経常収支差額と特別収支差額の合計額である基本金組入前当年度収支差額は28億3,244万円の収入超過となり、ここから基本金組入額5億円を差し引くと、令和4年度の当年度収支差額は23億3,244万円の収入超過となりました。当年度収支差額（収入超過）と前年度繰越収支差額（支出超過）の合計額に基本金取崩額を加えた翌年度繰越収支差額は、145億5,089万円の支出超過となりました。

なお、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の事業活動収入の部を合計した事業活動収入計は228億770万円、事業活動支出の部を合計した事業活動支出計は199億7,526万円となりました。

④貸借対照表について

【資産の部】

有形固定資産は、駒澤大学図書館完成による建物、構築物、教育研究用機器備品の増加、苫小牧高校の大心寮完成による建物の増加があったものの、富浦セミナーハウス売却による土地、建物、構築物、教育研究用機器備品の除却、旧図書館におけるシステム関係、機器備品の除却及び、図書資産額修正のための除籍処理により、5億6,848万円減少しました。

特定資産は、本部会計において減価償却引当特定資産に18億円、将来計画引当特定資産に16億円の組入れ、第2号基本金引当特定資産から第1号基本金への10億円の振替及び5億円の組入れ、駒大高校において建設準備引当特定資産に4億円の組入れ等により、29億1,130万円増加しました。その他の固定資産は、火災保険の長期契約による長期前払金の増加等により1,193万円増加しました。

流動資産は、現金預金の増加等に伴い5,230万円増加しました。

その結果、前年度より24億705万円増加し、資産総額は997億9,018万円となりました。

【負債の部】

固定負債は、借入金を約定どおり返済した長期借入金や退職給与引当金等の減により4億4,799万円減少しました。流動負債は、未払金や預り金が減少したものの、前受金の増加により2,261万円増加しました。

その結果、前年度より4億2,538万円減少し、負債総額は174億5,601万円となりました。

【純資産の部】

基本金総額は前年度より12億5,713万円減少し、968億8,507万円となりました。翌年度繰越収支差額は、前年度より40億8,957万円増加し、145億5,089万円の支出超過となりました。

その結果、純資産は前年度より28億3,244万円増加し、823億3,417万円となりました。